

設問 1: 芹ヶ谷公園“芸術の杜”に関して、本日のパネル説明のほか、ご意見やご要望などございますか。

※順不同です。

項番	意見・要望
1	とても心地のいい空間。もっと町田のシンボルになるようすてきな工芸美術館を作ってください！楽しみにしています。子どもたちの世代にも版画や工芸のすばらしさを伝えていきたいですね。
2	大勢の人がつめかけるイベントが行われるかどうかより、気軽に日常的に立ち寄れる場所であるかどうか公園が長生きすることにつながるのではないかな、と思いました。気軽に訪れるには高低差の解消は大切に思いますが、エレベーター棟の存在感は強すぎると、う〜ん。もっと公園に似合う方法はないものかと、考えたくになりました。
3	美術・工芸、公園（自然）の3つを良い関係にまとめられると、とても良い町田らしい場所になるのかなと思います。それぞれに対して、地域の人々が関心を持てたら、今後も正しく残っていく気がします。期待しています。個人的には、町田の田畑ある緑が好きな所なので、その良さが活きた公園になってほしいという気持ちが1番です。（仕事が美術関係でありながらも、そう思います。）
4	観賞の窓口になりそうな体験や工芸品の説明に手軽に参加できるところがとても良かったです！市外の者ですがSNSをフォローしており、陶芸体験やガラス工芸体験の多さをいつもうらやましく思っています。
5	自然の破壊はダメ。文学館やせりがや会館の建て替え時に工芸を入れるべき。駅前再開発の中で工芸を入れるのも視野に入れるべき。公園内でもよいが、平地の活用を図るべき。高層化も考えるべき。 追伸 町田駅前の歩道のブロックがいつも壊れていて凸凹が激しく、非常に歩きづらい。
6	町田駅と芹ヶ谷公園とのアクセスを生かすのであれば、まず、交通について考えてください。町田駅周辺の道路は、路面のタイルやブロック、階段の破損がよく見られます。歩きやすさも大事かと考えます。次に、工芸館を自然を壊してまで、あの場所に建設する必要があるのでしょうか？人類にとって、自然は不可欠なものです。これ以上、手を入れることを望みません。でも、いい公園になることも希望します。
7	- このような市民・利用者の意見を生で聞き、収集されるイベントが行われているのは大変良いと思いました。 - アンケート回収BOXは意見が見えない形で回収されるのが良いかと思います。 - 町田市のコレクションが市民や周辺の方に見てもらえるような、芸術との出会いの機会損失が少なくなるといいなと思いました。
8	・とりあえず一度立ち止まる事になったのはよかったです。 ・制作と鑑賞が一体である事が版画美術館のよい所です。展覧会を見てきた感動と連続して制作を見られるのが魅力です。この一体性は壊してほしくないです。 ・版画美術館の、すでにある一体性を分解して別の動線上に置き直すのはお金のムダです。工芸博物館は町田荘跡地に建てては如何？体験棟を入れても充分と思います。両館間の広場も活用できるでしょう。 ・谷底におりるエレベーターは必要です。但し、版画館を通る旧案のエレベータには反対です。美術館の作品保全の危険な穴になります（虫・土足） ・芹ヶ谷公園に来る殆どの人は車で来ます。駅からの動線は太くないので、良い公園でも「にぎわい」にはつながらないでしょう。むしろ駐車場の充実が必要だと思います。 ・美術館は文化施設ですから、建設・維持・運営には学識経験者、アーティスト、利用者の参加が不可欠です。
9	施設が古くなっている事もあり、計画見直し→実行になるべく早く進むようにと思いました。版画美術館は、以前工房がなくなると困ると言っていた版画家の方がいたので、美術館に制作の場所があるのは珍しいと思って注目していました。一般の素人向けに制作の場があるのではなく、プロの人が制作できるような本格的なものがある、それは今の時代なかなか続けていくのはむずかしいならば、カットするのもやむをえないと思いました。できる形で、やっていくしかないと思いました。

10	・市の方々の努力を感じました。職員の方々の表情が明るくなった。大変ですけど元気に取り組んで下さい。 ・ワークショップ、検討委員会。いわゆる学識者の選定等は難しいと思います。何回か繰り返していくうちに方向性が決まってくるのではと思います。 ・色々な開発、美術館建設業の先行事例を学んでいくことも必要かと思います。 ・街作りの観点から商店街の方々の意見も聞く必要があるのでは。
11	様々な意見、工芸美術館建設反対等の意見等ありますが、この芹ヶ谷公園に建設することで、前向きに、なるべく早期に計画をまとめたいた だきたい。地域の住民だけでなく町田市民全体や、他の地域からも来園され、楽しく、過ごせる公園として整備していただきたいです。
12	この貴重な美術を中心にみんなが集まり、楽しみ、慈しむことができる場所は必須、必要です。自然との共存も大切にして、この場所を残していっ て下さい。お願いします。
13	・この緑の環境を何よりも守って欲しい。 ・工芸美術館（現在の）は建築物として大変秀れているので大事に維持管理するべき。移築によりどうなるのか心配。 ・営業目的にならないよう強く言いたい。 ・人が集まる事は良い、とは言えない。折角の自然環境の中で、静かに、のんびり過ごせる事ができなくなるとは、この芹ヶ谷公園の意味が無くなる。
14	もっと芸術にふれる機会を増やしてほしいと思う、工芸の体験会でした。 次の計画でも、ハコの中にあるアートにふれるとかではない、さわれるアートがふえたらと思いました。
15	・版画美術館の男子トイレとロッカーは早急に修理してほしい。さすがにまずいと思います。 ・工芸品（ガラス、陶磁器）の展示も開催して、工芸館建設のアピールをしてほしい ・美術（版画・工芸）、スポーツは人生と彩りを与えてくれます。スポーツ施設並みに美術関係施設の充実をお願いします。
16	工房、アトリエ、けやきが、今の場所のままでいく方向で安心した！工芸館が案内棟にできれば、貴重な工芸品を身近に見ることができてよいと思 う。版画美術館の建物（外側）はさわらずに建物内の改装をすすめるのが大事だと思う。男子トイレがこわれているのはすぐ直すべき。美術館のイ メージが悪くなります。案内棟が工芸館になって、きれいなトイレや足を洗う場所もできて、ちょっとしたレストランがあると最高！
17	芸術と気楽にふれあえる場所は大切だと思うけど、公園全体となると大変だと思う。工芸美術館ぐらいならあってもいいと思う。よく庭園美術館とい うのがあるが、たてもの小さく、公園を整備して、お散歩コースになるような感じならまだいいのかなぁと思いました。
18	アンケートを全て読んでみた。積極的に工芸館建設（公園内に）の声は少なく、公園外建設や中止を求める声の方が多い。市は公園内建設を進める ようであるが、そうであれば、また設計などの費用がかさみ、さらに市民の反対により前回と同じことがくり返されると思う。
19	地元には美術館が有ることはなんて素晴らしい事でしょう。芹ヶ谷公園は自然の豊かさも提供してくれる町中の貴重な公園です。この環境の中で工芸 や版画制作の体験が出来ることは子供たちにとっても大人にとっても豊かな時間をあたえてくれる大切な場所となることでしょう。市民が参加しや すい企画を考えて頂き、多くの人が美術を楽しめる空間にして下さることを期待しています。
20	本質をもって進められている計画であることを説明され、版画はもちろんですが、工芸館についても十分期待できると感じました。ぜひ、この芹ヶ 谷公園のコンセプトを生かし、子供達からシニアまで全世代に大きな夢を与える「芸術の杜」に期待しています。
21	①エレベーター（エスカレーター？）はあると便利だけど、管理が難しいのでは？不要だと思います。 ②町田駅で最寄りバス停（と言っても美術館から遠い）から美術館への道のりが分かりにくく不親切。これではお客さんを呼べないと思います。 ③美術館＋（プラス）工芸館のアイデアは良いと思います。 ④せりがや会館の跡地利用も考えてほしい。

22	版画館のフロアは広く、企画展など展示物が多すぎると感じる時があります。半分かくらいの展示でじっくり見せるのもあっていいと思います。この広さなら工芸館と版画館を合同にしてもいいのではないのでしょうか。（工芸館をどうしてもというのなら。）建物を作るのはこれからの時代に必要ないと思います。版画館をこわして工芸館につなげる計画は二度と計画しないように思います。
23	素晴らしい計画だと思いました。東京と神奈川をつなぐ好立地なので広域の声をとり入れて下さい。横浜市民ですが応援しています！アートをもりあげましょう！
24	流れが良く理解できました。良かったです。世界に認知される計画が実現できると素晴らしいと思いました。簡単にはいかないでしょうが、ワークショップを通して皆様で知恵をだしあえば、少しずつでも育てて良い“杜”ができ上がると思います。計画の実現お祈りいたしております。アートのまち町田！
25	芸術より市民の生活の場であってほしい！季節の花々や小鳥の声、花木の下ベンチで休みたい。魚を放し、水草を植えた当時のおもかげがなく淋しいかぎりです。平日の管理と整備をしてもらいたい。竹やぶ、草刈りをお願いします。
26	・ワークショップメンバーは、無作為選出20名とあるが、美術家、環境問題の専門家、建築家なども加えていいのではないか。 ・今までの計画を見直すのであれば、掲示板は早くはずして欲しい。
27	1回目の意見を全て見ました。 意見が2分していると思います。 1、杜を残すのか、工芸館（博物館の移築ではない）を作りたいのか 2、エレベーターは高低差を埋めるためか（工芸館を低地に作った場合）、近隣住民の生活道路の利便性向上が目的なのか *町田駅からのアクセスは別の課題だと思います。 方向性を絞り込んで今後の検討を進められては如何でしょうか。
28	①「芸術」とうたうならば、もっと美を意識した整備が必要です。 ②工芸館をつくる、とかアート体験棟をつくるというレベルでなく。 ③公園全体を芸術作品にする活動が必要です。 ④自然を壊さず、メンテナンスを継続して、自然と芸術が調和した「杜」を実現してほしい。 ⑤開かれた所で市民と役所が「どうあったらいいか？」を話し合う機会を何度も重ねる。 ⑥様々な意見をひとつにまとめることは至難だが、以前のような怒号が飛び交う場ではなく話し合うことができるようになれば必ず良い方向が見出せます。 ⑦市民と役所が納得できるまで話し合うことです。
29	来るたびに芹ヶ谷公園の森林、緑はすばらしいものと感じます。夏は水あそびのできるせせらぎがあるのも大変うれしいです。あまりあたらしい建物づくりばかりに走らず、今のすばらしさをこわさず、自然との調和をはかってほしいです。
30	今やるべきことは公園の整備、歩いていてつまずきそうな、転んだら大けがになりそうな補修が必要な箇所が多くあります。樹木にも手が入っておらず、私たちの生活を守っている木々が倒木のおそれがあります。世界の至る所で戦争が、地球環境を増々悪化させている、だからこそ、この芹ヶ谷公園の樹木を大切に残す必要があります。工芸館建設に無駄な税金を使うことに反対です。公園はあくまでも市民のくつろぎの場であってほしい。エレベーターもなくてよい。
31	はじめのミニはなが
32	町田在住ですが、こちらは少し遠いのでたまにしか来れないのですが、美術館と森（杜）がひとつになっている環境は素晴らしいと思うので、地域のさまざまな世代の人々が集える場所にしていただけたら、嬉しいと思いました。

33	細かい部分は資料が多く理解まではできませんでしたが、大体のこれまでの流れはわかりました。今後27年6月までの活動の計画も説明を受けました。その計画で住民、市、専門家の皆さんと検討を重ねられると良いと思いますが…夢がふくらむと予算がそもそも半分（20億円）で納めようとしていたものが40億になり、それ以上になるとより実現が遠のいて協議のくり返しに時間がかかるのではないかと心配です。駅や街からも近く緑や水も豊かでこのような芸術にふれられる場所はなかなかないので、もっと利用者と自然に優しい場所ができればと願っています。自然のLANDSCAPEと湧水の流れを生かした、新しい建物のデザインと工房やレストラン、利用者にも配慮したLAYOUTができると良いと思います…エレベーター塔はデザインの的に再考すべきかと…
34	現在の版画美術館の建物が好きです。公園と一体化したデザインで、噴水から歩いて美術館まで行くのを、いつも楽しんでいます。工芸美術館の必要性は理解しつつ、現在の良さは失われないと良いなと思っています。気になっているのは、周辺施設の状況です。特に近くのせりがや会館が老朽化していて気になっています。一緒に整備されるのでしょうか？工芸館もあちらにできれば、アクセスしやすいのに、と思う事があります。
35	工芸美術館が早く完成するといいなと思います。ガラスややきものの所蔵品がたくさん見たいです。
36	人の数だけ意見があるのは仕方ないが、多くの人に良かったと思われる環境が出来たら良いと思う。ただ緑を多く残すのではなく、より様々な人々が足を運びやすいという点で、はじめの計画でも良いと思う。建物と自然の調和と利便性、良く考えられていると感じた。芸術にふれる機会を増やす努力をとてまされていると思う。たくさんの作品を新しい建物で見る事が早く出来たらと思う。その後中心地からの動線がもう少し整備されるとより多くの人が訪れやすいと感じる。
37	芸術の杜としての計画も良いが、まずは芹ヶ谷の自然を大切にし、自然を守ることを優先した計画をお願いします。
38	これまでの経緯がよい意味でまとめられていてわかりやすかった。
39	国際工芸美術館 早く出来るのを楽しみにしています！
40	会議体のコンサルタントは誰なのか？公表すべき。
41	こどもも大人もできるミニはんが
42	今までの計画が見直されるようなので安心しました。植物の管理を徹底していただき四季いつでも来なくなる公園にしてほしいと思います。
43	スタッフの方々の熱心な説明を受け、芸術の杜完成が楽しみになりました。芸術を楽しむことで平和が生まれ、芸術を守ることで平和が続くように感じました。
44	芸術の杜構想、素晴らしいと思います。町田市在住ではないですが、工芸館ができれば観に来たいと思います。
45	今日もこの会場に向う公園では虫捕りあみを持って走りまわる小学生にたくさん出会いました。これからの子供たちに私たち大人ができることは…？高価な美術館を飾るためにこの森を壊すことでしょうか？こどもち条例をうたうこの町田でもっと子どもたちの声も聴いてほしいです。エアコンの効いた工芸館ではなく、カブトムシ、ほたる、トンボたくさんの動植物に触れることができる自然を守り続けることが大切なのではないでしょうか？今後のワークショップの学識経験者のメンバーにはこの森の動植物に詳しい先生方の参加を希望します。私が夕暮れの芹ヶ谷公園でタヌキを見かけるようになってから今年の春で23番目の赤ちゃんが誕生しました。この森のすみっこで静かにでもたくましく世代交代しながら生き続けています。この春はキンラン・ギンランも開花をしていました。この季節の朝はコジュケイの「チョットコーイ」の大きな鳴き声で目覚めます。どうかこの森の自然を町田市の宝として大切に守って下さい。

46	5～6年前に計画が公表されて、その後どんどん工事費が上がっているが、芸術の杜には最終的にどれだけの予算が投じられるのでしょうか。町田市の限りある予算の中で、バランスがおかしいように思えます。美術館や公園は大切なものだと思いますが、そこにどの程度の税金を使うかのバランスが大切だと思います。仮に、工芸美術館やエレベーターが、できなくても、芹ヶ谷公園の谷戸地形の緑がいきいきとした姿を残していければ、それで充分だと思います。工芸美術館を芹ヶ谷公園内に建てるとすれば、高ヶ坂側の草地広場に建てれば、木を一本も切ることなく、平地なので工事費も高くないはず。駅と版画、工芸美術館を回るシャトルバスを運転するのもいいと思います。
47	器の説明はとてもおもしろかったです。今後、別な目線で器が見れそうです。
48	「美術館」は一時的なアミューズメント施設ではなく、数十年単位で事業を継続する文化施設です。版画美術館の設置にあたってはこれを踏まえ、審議会等で運営方針や事業内容を定めたはず。開館以来しばらくはこれに則り、作品の定期的な購入や、作家招聘などの事業が行われていたが、ここ十数年は予算縮小を理由に途切れています。これはつまり、「美術館」として本来行うべき業務を全うする予算を町田市は確保できていないということです。“芸術の杜”計画見直しを今後進めるにあたり要望したいのは、版画美術館と工芸美術館の2館を運営し続ける財政能力が町田市にあるかの検証です。 そのためには ・「美術館」が行うべき業務の確認。特に版画美術館については設置時の記録を精査し運営方針を改めて確認し、本来どのような業務が行われてきたか、行うべきなのかを整理、確認する。外部有識者の意見もあればなおよい。業務内容が把握できたところで、必要な予算の概算を出す。 ・上記をもとに、①版画美術館と工芸美術館の2館を設置 ②展示室をシェアして両館を統合 ③その他 などいくつかのパターンで、今後必要となる予算の概算（最低でも10～20年の見通し）を出す。その際には工芸美術館の建設費用や数年ごとに必要になる両館の設備維持費等も計上する。 ・これらのデータを揃えたところで、今後、町田市がその予算を確保し続けることが可能か財政面から検討する。 たとえば、貯金や今後の収入も考えずに、分不相応な豪邸を建てたら破綻します。「美術館」は建ててからも費用がかかりますが、建てた以上はそれを維持する責任があります。持続可能な事業となることを願っています。
49	谷の魅力を活かした美術館作りを応援しています。今は市民ではないが子供の頃お世話になった人々の意見も集めていただきたいです。
50	気軽に立ち寄れてよかったです。説明も丁寧にしてくださり、とても良いなと思いました。
51	色々な意見（相反する意見）もある中、どう折りあいをつけて今後公園をつくっていくのか、たのしみです。今の良さと新しい良さがある温故知新？のような公園になったらと思います。
52	工芸品は好きですが、あまり工芸美術館のような場所に行かないです。みんな行きたくなる工芸美術館の体制をこれから検討したほうがいいと思います。
53	・建物のハード面ではなく、ソフト面（学芸員の働き方、企画展）にしっかり予算を使ってほしいです。 ・非正規雇用の学芸員さんを正規にしてほしいです。働き方、雇用の改善が、運営の充実につながると思います。 ・企画展への予算を充実してほしいです。美術館の奥は電波が届かないので、フリーwifiを入れて、AIを活用した音声ガイドをスマホで聴ける様にするとか。作品を借りられる様に予算をつけて、おもしろい企画展をもっとしてほしいです。 ・男子トイレの一部が故障しているので、新築する前に修理してほしいです。 ・現在も、公園に来る人たちの車で駐車場がいっぱい。「稼げる公園」になることを目標にするにしても、車が増えて渋滞するのは避けてほしい。シャトルバスを増やすとか、駐車場の問題をどうするか提示してほしいです。計画には駐車場のことがありませんでした。
54	・子供が、学芸員さんとふれあえる、説明してもらえる場所であればと思います。 ・子供たちが、皆平等に芸術にふれる機会がある様な施設であればと思います。

55	・公園案内棟等の予定地だった所へ工芸館を。 ・地下を収蔵品収納スペースに。 ・工房、喫茶をもとへ戻すことはよいかと思います。 ・ワークショップへ建築家、美術家等の専門家を加えて下さい。
56	第2回“芸術の杜”を語る集いへの意見 第一回の語る集いに参加させて頂き、その後美術館課から“芸術の杜”事業の進捗状況の説明を受け、“これまでいただいたご意見”等の市民の意見をまとめられたレポートを拝見しました。早々に話し合いの場として市民側で仮称“芹ヶ谷公園市民会議”を立ち上げ、市と協議していくべきと考えます。レポートにあったように“芸術の杜”というコンセプトから再検討が必要です。会議では初めに芹ヶ谷公園の存在意義から共通認識を構築し、そこから各テーマを検討していくべきです。以下に“今後の進め方（案）”にあった、会議上のワークショップで取り上げたい具体的なアイデアを挙げます。 1. 工芸館を芹ヶ谷会館跡地に建設 芹ヶ谷会館跡地と駐車場に公園案内棟、アート体験施設を併設した工芸館を建設する。 東側を開放的に作り、下方のモミジ谷を美術館に不可欠な借景とする。 ①平地に建設し、三つの施設を一体化させ建設費を抑える。 ②駅からのアクセスからいって、芹ヶ谷公園の正門として設計する。 ③一昨年前の原町田地区懇談会では、芹ヶ谷会館跡地を第二小学校の建替えの代替え地にとの説明でしたが、仮校舎は300mと離れていない芝生広場に作ってはどうか？そこに作る計画のモノレールの駅？はその脇をはしる都道整備も進んでいないので第二小学校建設の後になるでしょう。 2. 町田荘跡地に第二駐車場を建設 町田荘跡地に2階建か3階建の立体駐車場を作る。 ①町田荘跡地の既存の出入り口に料金ゲートを作り、駐車料金を徴収する。 ②美術館側は林や緑を残して景観を守りながら増設する。 ③版画美術館の経費削減策として、既存の借地の無料第二駐車場は契約を解除する。 3. スロープの改造と増設 公園内には現在2つのスロープがあるが、スロープの改造と増設を提案します。スロープは近くにある老人ホームの方々や保育所の幼児に優しい道であって欲しい。こうした人々からの望む声は大切にしてください。5億円を超えるエレベーター建設費をスロープの改造と増設に回してください。 ①スロープの改造 工芸館が版画美術館裏のガケ地に造られないことで守られたスロープは、拡幅して急傾斜を無くしてください。幼児を乗せたカートや車椅子が安全で楽に行き来できるように改造する。レポートにあるエレベーター建設賛成の方々にも納得していただける完成度を期待したい。 ②スロープの増設 公園北側小田急線近くの原町田5丁目側の斜面にスロープの増設を希望します。ここには現在、急傾斜の登山道のような狭い道があります。近くには老人ホームと保育所もあり、幼児は危険な道を降りて草地で遊んでいます。町田街道より駅よりの5丁目から4丁目には7カ所程の保育施設がありマンションも増え、子どもは増え続けると考えられます。町田市は子どもの転入率が日本一だとか。車椅子や幼児を乗せたカートが楽に上がり降り出来る道幅と傾斜角度で作ってください。ひだまり荘の様なスロープでも良いと思います。 4. 水辺の遊び場に更衣室を建設 噴水プールと版画館前の浅い水路は、5月から10月までの半年間は水遊びの子供たちで賑やかです。ここは安心して水遊びが出来て木陰もあるので親子に人気で、相模原や横浜市方面からも訪れていると聞きました。近くにはこうした水遊びが出来るところがないとの事。貴重な施設です。トイレ付近に更衣室を設置してはどうでしょうか？歩いて遊びに来た親子も、水遊びが出来ますように。

57	①工芸美術館は計画の場所に縮小して建設するのではなく、別の場所に建設して下さい。 ・建設場所は、公園の中で、もみじがいちばんよい場所である。 ・建設場所は、水が多く出る場所で、建設に多くの費用を必要とするとともに建設後の維持にも多くのお金がかかる。 ②ワークショップ（市民会議）のとりまとめ役を市民の中から選んでほしい。 ③外部委員会は、ワークショップのとりまとめ役の意見を了解する型としてほしい。
58	芹ヶ谷公園工芸美術館等について(2026/8/11~12) 1 稲垣市長のカルテ ・5月15日付の広報には、芹ヶ谷公園「芸術の杜」に関する稲垣市長のカルテ(S,O,A,P)が掲載されています。ここに記載されている内容を十分に理解されて、今後の進め方についてご検討下さい。よろしくお願い申し上げます。 2 懇談会での原田課長の発言 ・5月16日に開催した近隣住民有志の会では、原田課長は、以下の3点をご説明されました。この3点につきましては、今後必ず実行してください。 ①今後の工事に際しては、国際版画美術館には手を加えない。 ②現在存在するスロープについては、手を加えない。 ③工芸美術館は、芹ヶ谷公園内に建設する。 3 先般のアンケート結果と今後の対応 ・先般のアンケートでは以下のようなことが市民より求められています。今後の対応に必ず生かして下さい。 ①芹ヶ谷公園“芸術の杜”整備計画について、どう思いますか ・この意見の中では、版画美術館の現状維持が求められています。ぜひご検討下さい。 版画美術館の工房やアトリエの現状維持を求める意見: 11件 工芸美術館の早期実現を求める意見: 7件 工芸美術館の建設場所の再検討を求める意見: 7件 ②これからの見直しの進め方について、どう思いますかに関する意見 ・この意見の中では、ワークショップの運営手法と参加者に選定について求められています。ぜひご検討下さい。 ワークショップの運営手法と参加者の選定に関する意見: 14件 工芸美術館の必要性についても検討すべきとの意見: 14件 ③芹ヶ谷公園“芸術の杜”の計画や芹ヶ谷公園に関するご意見・ご要望 ・この意見の中では、以下のごとく建設場所の再検討が求められています。ぜひご検討下さい。 公園の自然環境の保全や緑の適切な維持管理を求める意見: 23件 工芸美術館の建設場所の再検討を求める意見: 19件 4 要望事項（市民との協定書締結の件） ・芹ヶ谷公園に関する芸術の杜の今後の進め方に関しては、以下の内容を含む協定書の締結についてご検討下さい。 ①ワークショップのテーマについて 公園の存在意義について 公園の再生について 公園に必要な機能（工芸美術館、公園案内棟、アート体験棟、アート出会いの広場、版画美術館） 施設の配置と規模（版画美術館以外は、同じ建物に建設する） 運営 ②ワークショップの参加者 無作為抽出による市民の方: 20名程度 芹ヶ谷公園周辺の町内会の方: 3名程度 公園及び版画美術館で活動されている方: 3名程度 その他、ワークショップに参加を希望される方: 10名程度

* 今回の集いで一番感じたことは、学芸員さんの魅力でした。直接陶磁器に触れられたことも貴重な経験でしたが、わかりやすく作品への愛情あふれる説明は、目の前の作品への興味が何倍にも膨らみ、新たな世界を広げてくれるように思いました。版画美術館で行われた「講演会×鑑賞会 ココがすごい！版美のコレクション」や展覧会での学芸員さんのお話を何度も伺っていると、美術館や博物館の魅力は、収蔵品の素晴らしさはもちろんのこと、研究したテーマを面白く楽しく市民に見せてくれる学芸員さんの企画力や言葉なのだと思います。その意味で、今回の計画見直しの中心にぜひ学芸員さんたちに参加してもらいたいです。収蔵品の魅力も意義も一番知っているのが学芸員さんたちだと思います。熱意ある学芸員さんたちの思いを実現できるものにしてほしいです。

* 11月から始まるワークショップや外部委員会については、市民が意見を出しやすい場のしつらえができる方、市民意見を尊重しながらも、中長期的に美術館や公園、まちづくりの有り方を考えられる方、これまで版画美術館や博物館が積み重ねてきた取り組みを熟知してリスペクトが持てる方、市民と行政を対等につなげることができる方をキーパーソンやコンサルに置いてほしいです。自分が実現したいことを芹ヶ谷で試そうとする方や、あらかじめ決めたストーリーに合わせようとするコンサルは遠慮してもらいたいです。

* ワークショップの参加者の人選ですが、若者世代、子育て世代、現役世代、高齢世代が均等に入っていること、障害のある方、外国籍の方(芹ヶ谷公園はかなりの数の外国籍の方に利用されています)の参加も必要ではないでしょうか。子どもたちの意見も聞く機会をぜひ作ってほしいです。(特に必要な機能、施設の配置について)

ワークショップ参加者がワークショップ終了後や公園の再整備後も公園や美術館に関われる継続的な機会を設け、有志の方がゆるやかに関われる公園や美術館の応援団のような仲間づくりをしていけるといいと思います。

* 前回の集いで出た市民意見を読んだところ、自然を壊さないでという意見が多くありました。街中での貴重な林の維持については私も賛成ですが、ただ木を切らないということが林の維持につながるわけではなく、適正に管理していくことで健康な林が維持できるということがあまり理解されていないように思いました。高木化した木はナラ枯れ等の被害にあいやすく、倒木等の危険も起こりやすくなります。(現実、林の中で倒木が結構起きています)

また、林の管理が全くされていないという意見もありました。ナラ枯れの後、公園緑地課がかなりの枯損木を伐採していたこと、かかり枝や枯損木等危険なものについての報告にもよく対応をしてくださること、定期的に草刈り等がされていることもわかるのですが、市内の公園の数からいっても全てに即座に対応することは難しいことが市民の方にあまり理解されていないように思いました。そこで、公園林のあり方や維持管理、また公園林を活かした楽しみ方等を専門家から学ぶ市民講座を行ない、市民と行政と一緒に健康で美しい公園を作っていくことを考えあい、芹ヶ谷公園の自然を守り育て継続的に愛着を持って関わって下さる市民の輪が広がるといいと思います。すでに活動されている方や、Future Park Labで展開している自然観察のイベントの参加者もいらっしゃるので、そういう方たちを大切にすることも良いと思います。自然活用と保護再生については勉強し、いろいろな取り組みもしているので、協力していきたいと考えています。多摩市にある都立桜が丘公園の雑木林ボランティアのお話を伺ったことがあります、たいへん参考になりました。そのような事例を見学に行くことも有効だと思います。